

# NPOわははネットのノウハウ移転事業について

## 1. 事業モデル名：子育て・まち育てIT活用ハッピープロジェクト

## 2. 事業者の概要

補助事業者名：特定非営利活動法人わははネット

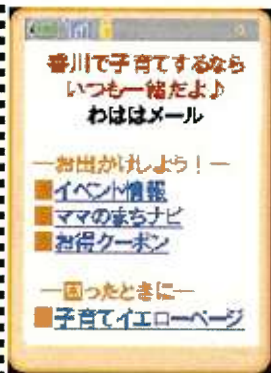
所在地：香川県高松市

取り組んでる社会的課題：子育て女性の多くが感じる密室化育児による子育ての不安・孤独感を解消し、地域・社会への参画機会を提供する。また、一連の活動を通じて、地域経済全体の活性化に寄与する。

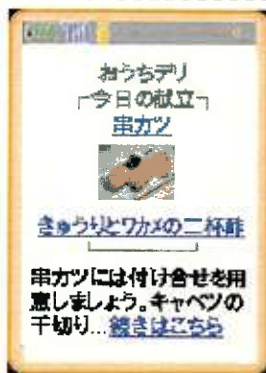
課題への取組：子育ての不安・孤独感の要因は情報不足によるものと考え、携帯電話を活用して即時性のある生きた情報を提供している。併せて、子育て家庭へのマーケティング・プロモーションツールとして活用することで経済的にも地域に貢献している。

3. 事業モデルの革新的な点・成功の秘訣：多く携帯電話向け情報発信システムが存在するなか、当ITシステムは、子育て情報の配信に特化しており、約4年間にわたる運営の間、随時バージョンアップを重ねてきた。また、運営体制においては、情報収集・情報配信・営業業務などの効率的な役割分担体制を確立。その結果多くの会員を獲得し、的確に「子育て中の主婦」という活発な消費層へのプロモーションをすることが可能なものとして、企業から広告媒体としての信頼と実績を重ねてきた。

4. 移転先：①シャーロックホームズ（横浜市西区宮ヶ谷）：すでに携帯メール機能を使った子育て支援「ベイキッズメール」を実施。しかし、会員数が思うように伸びず、併せて、コストやマンパワーの問題に直面。  
 ②亀岡子育てネットワーク（京都府亀岡市）：すでに携帯メール機能を使った子育て支援「あったかメール」を実施。広報ノウハウやビジネススキルがないため経済的に継続が困難な状態。  
 ③ういず（沖縄県那覇市港町）：地域子育て情報誌を発行しているが、広報媒体が情報誌しかないこと、また情報誌の発行が年に一度ペースであることから、新しい情報発信ツールの模索中。  
 ④ネットグローバル（愛媛県松山市）：子育て応援サイト「ドコママ愛媛」を運営。本サイトを活用した広告料収入ビジネスモデルの確立を目指す。



携帯電話による独自の  
子育て情報配信システム・運営体制



移転先に提供できるノウハウ



- 情報提供による子育て家庭の地域・社会参画促進を実現
- マーケティング・広告ツールとしての活用により地域経済活性化に貢献

地域も子育て支援団体も子育て当事者も  
Happy-Happyな関係を可能に